

「 「 「 「

「 「 ☆TOPICS

.....

◆◇◆橋梁用広スパン低位置道路照明について◆◇◆

(本州四国連絡高速道路株式会社)

JB 本四高速は、低位置道路照明としては世界最大となる約 30m の広範囲を照射可能な照明を開発導入した。広スパンを実現するため、特殊 LED 素子を採用し精密なレンズ設計を行っている。従来ポール式であった道路照明を低位置とすることで、工事と維持管理における高所作業車や揚重機械と交通規制が不要となり、LED 化における省電力に加え省エネを実現し、2025 年度省エネ大賞を受賞した。

「 「 「 「

「 「 ☆地域における道路行政に関する取り組み事例

.....

★滋賀国道が支える道路ネットワークの進化★・*:.:

— 令和 7 年度 4 路線開通を迎えて —

(国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所)

滋賀国道事務所は、滋賀県下の国道 1 号、8 号、21 号および 161 号の 4 路線、指定区間延長約 241.5km の道路管理を担っている。令和 7 年度には、管内の交通諸課題に対応する 4 路線が相次いで開通を迎えた。本稿では、各路線の概要とともに、令和 7 年度に開通した 4 路線のうち最初に開通した栗東水口道路 I の開通式典の様子、また栗東水口道路 I および湖西道路を代表例として整備効果について報告する。

.....

★主要地方道女川牡鹿線 大谷川浜小積浜道路改良事業★°・*:.:

～災害に強い道路ネットワークの構築に向けて～

(宮城県 土木部 道路課)

主要地方道女川牡鹿線は、宮城県女川町の一般国道 398 号を起点とし、隣接する石巻市の主要地方道石巻鮎川線に至り、牡鹿半島を南北に縦断する路線です。本稿では、牡鹿半島を東西に接続し、信頼性の高い防災道路ネットワークの構築を目的に、平成 29 年度から宮城県が進めているバイパス整備の取組状況を紹介します。

.....

★（仮称）白石中央スマートインターチェンジ及び

国道4号白石南拡幅事業と一体となって進める持続可能なまちづくり★°・*∴.

（白石市 建設部 都市創造課 スマートインターチェンジ・企業立地推進室）

白石市では、高速道路ネットワークの効果を市民が効果的に享受できるよう、本市中心部南に（仮称）白石中央スマートICの事業化を進めており、その効果を最大限発揮するため（仮称）道の駅しろいしZAOを含めた周辺整備事業を進めています。本稿では、当該事業の概要についてご紹介します。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆編集後記

.....

知人に紹介してもらった物語。動画配信サービスでの実写化が人気と聞くも、そのサービスに未加入であるため、本を読んでみることにしました。時代背景は、幕末～明治初期。

慣れない時代背景に加え、主人公をとりまく登場人物の名前が難しく、思いのほか時間を要してしまいましたが、先日、全4巻の文庫本を読了しました。登場人物を常に監視する役どころの人たちが、皆、木偏の漢字一文字のコードネームを持っており、見たことも読んだこともない漢字で、読み進めるのに大変苦労しました。また、幕末～明治初期の歴史上の人物の登場もあり、この時代の勉強を疎かにしていたので、誰だっけ？という場面もちらほら。勉学に励んでこなかった若かりし頃の自分が憎いです。

読めない漢字といえば、夏季休暇を利用して訪れた北の大地でも同じような経験をしました。この地の地名は、もともとあった地名の「音」に漢字をあてはめているため、難読のレベルが桁違い。行った先々で、地名を声に出して友人に確認するも、高い確率で間違えます。何度か訪問し、位置関係も含め理解が進んできましたが、未だに読めない地名が多くあります。

昨今、パソコンやスマートフォンがあることが当たり前になり、読めない漢字や地名、わからない言葉について、辞書を引いて調べることがなくなっていました。調べることが簡単になってしまったからなのか、歳を重ねたからなのかは定かではありませんが、読み方や言葉の意味を調べても、記憶として定着せず、何度も同じことを繰り返してしまいます。

数少ない趣味のひとつである読書。いろいろな本と出会い、その世界観を楽しみたいと思っておりますが、これまで時代ものに触れてこなかったことで、今回、自分の知らないことの多さを思い知らされました。それでも、知らないことに会うたびに調べたり、少しずつ覚えたりしながら読書を楽しんでいます。新たな作品を探しているところですが、自分の嗜好に合うものだけではなく、これまで手を伸ばさなかった時代ものなどを含め、素敵な物語に出会えると嬉しいです。(U)